

天童市議会だより

2017
8.1
No.157
TENDO



6月定例会



▲山口地区青少年駅伝大会が5月28日に開催されました。この駅伝は、地区内を一巡する13区間23.77㎞で行われ、今年で52回を迎えた伝統ある大会です。

- 2 一般質問 9人
- 8 予算特別委員会 平成29年度補正予算
- 9 提出された議案とその結果
- 12 特集1 議会報告・意見交換会の報告
- 14 特集2 各常任委員会行政視察の報告
- 16 市民の声・9月定例会の日程（予定）

ご利用ください メール配信サービス

天童市では、議会の開催情報や、災害、観光・イベント、健康・子育てなどの情報を、電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひご登録ください。

※登録は無料です。ただし、メールの受信などにかかる通信料・パケット通信費は登録された方の負担となります。

かんたん登録

すべてのメニューを受信する登録方法です。
tndml@city.tendo.yamagata.jp
または、右の二次元コードに空メールを送信してください。



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月15日・16日の2日間の日程で、9人の議員が行いました。

子育て支援日本一を目指す施策をはじめ、認知症支援事業等について、市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★市民クラブ

狩野佳和 議員

- * 子育て支援日本一の天童市になるための施策をふるさと納税で集まった税金の有効な使い道を

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

- * 子育て環境の改善のために

伊藤和子 議員

- * 地方公務員法改正案が可決され、会計年度任用職員という新たな仕組みが導入されるが、市としての考え方は
- * 街区公園・市道の維持管理方法について

★清新会

熊澤光史 議員

- * 将棋の教育的価値について
- * ユニバーサル社会の実現に向けて

菅原隆義 議員

- * 子育て支援について
- * 空き家問題について

山口桂子 議員

- * スポーツ都市日本一のために
- * 本市では2035年問題をどう取り組んでいくのか

★政和会

三宅和広 議員

- * 子どもの生活実態調査の実施について
- * 障がい理由とする差別の解消を推進するための条例について

結城義巳 議員

- * 上山口採石場跡地の問題

松田光也 議員

- * 生活困窮者自立支援制度における本市の取り組みについて
- * 認知症になっても、住み慣れた家や地域で支え合って暮らせる「まちづくり」について

教えて

ケロっす



Q 一般質問って何ですか？

A 議員個人の立場から、市長等に対し、市政全般について質問することを行います。

6 月 定 例 会

平成29年度第2回市議会定例会（6月定例会）は、6月12日から23日までの12日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の報告議案7件と、契約議案1件、人事議案19件、委員会提出の意見書議案1件について採決が行われました。そのほか、予算議案1件及び条例議案等2件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、最終日の本会議に採決が行われました。

(採決結果は9ページに掲載してあります。)

審 議 日 程

月 日	内 容
6.12(月)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
6.15(木) 6.16(金)	本会議 (市政に関する一般質問)
6.19(月)	環境福祉常任委員会 (付託案件の審査)
6.20(火)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
6.21(水)	予算特別委員会 (付託案件の審査、討論、表決)
6.23(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)



子育て支援日本一のために、
保育料と給食費を無料に

狩野佳和 議員

市長は『子育て支援、スポーツ健康づくり、観光・ものづくりの3つの日本一への挑戦』を公約に当選した。数年前から第3子以降の保育料は無料にしたが、その後の拡がりはない。市民には第1子からの無料を期待する声がある。将来、

後、第3子以降の無料化を継続しながら、国の無償化の動きに沿い、負担軽減に取り組んでいく。

今年から第3子以降の学校給食費は無料になった。

将来、学校給食費は国費で負担すべきだが国に先駆けて、全ての子どもを無料にすべきと考える。先ずは来年度から、第2子以降を無料にすべきでは。

相澤教育長 今年度実施した第3子以降の学校給食費

ふるさと納税で
将棋資料館を無料に

無料化事業の効果を検証する。現在、第2子からの無料化は考えていない。

中学生プロ棋士藤井聡太四段の活躍と3月のライオンの影響で将棋ブームの再来である。同時に、将棋駒の生産量日本一の天童市も注目されている。この機会

に、将棋資料館を無料開放して、将棋駒を宣伝し観光



▲天童市将棋資料館



待機児童の現状と
改善策は

石垣昭一 議員

本市において待機児童は36人と発表しているが、保育需要の把握をどう行ったのか。また、待機になった理由と受け入れの拡充対策を伺いたい。

山本市長 保育需要については、天童市子ども・子育て支援事業計画を策定し、

平成27年度から5年間の保育の量を見込んでいる。平成27年度以降、認可保育所を3施設、認定こども園2施設の新設を進め、保育定員の拡大を図ってきた。

しかし、昨年度の入所申込みは、見込み量を超える多数の申込みがあったた

め、待機児童が発生したものである。

保育の受け皿の拡大については、現在、認可保育所3施設と小規模保育事業所1施設が来年4月の開園に向けて準備を進めている。

また、今後の認可保育所の整備については、平成25年3月に就学前施設のあり方に関する構想を策定し、

この中で、待機児童の解消に向けた取り組みは、私立保育園を基本として進める

児童館の現状と
今後のあり方は

市民から児童館も保育園並みに延長保育をしてほしいとの声がある。

保育要求が多様化する中で、今後の児童館のあり方について伺いたい。

山本市長 これまでも早期保育や延長保育を実施してほしいという声を伺って

としており、現在もこの考え方に変わりはない。

が、現在の体制では応えることは難しい状況である。保育の必要性の有無に関わらず入園できる児童館の機能と、多様な保育ニーズにこえる機能を併せ持つ施設として、認定こども園がある。

今後、市全体の保育需要を見ながら、保護者や地域の方々の意見を伺い、慎重に検討を進めたい。

公務労働・非正規職員
の処遇改善を

伊藤 和子 議員



地方公務員法が改正され、会計年度任用職員という新たな仕組みが導入されるが、市としての考えは。行財政改革で正職員が減り、非正規が増えている。処遇面で正規との格差があるが、改善策は。

宮に基づき、事務事業に見合った計画的な定員管理をしている。法施行までに必要な準備をすすめる。武田総務部長 専門的な知識を持った方を嘱託職員として83人、事務補助、業務補助の臨時職員を237人雇用している。この内パ

山本市長 健全な行財政運



天童市のたからを
育むために

熊澤 光史 議員



将棋は、学校教育導入推進事業として高く評価されており、青少年健全育成に向け、将棋を学ぶ活動をより活発に行う必要があると思うが、教育長の考えを伺いたい。

相澤教育長 将棋駒の生産地という環境を活用し郷土



▲天童桜まつりにてプロ棋士と指す子どもたち

ト保育士は7時間勤務が38人、早朝・延長など短時間勤務が37人。1年更新で最長3年を原則としている。

公園・側溝の維持管理に
十分な情報提供と支援を

街区公園や側溝清掃などの維持管理が、住民の高齢化で作業が困難になっている。また、草刈機の購入や備品交換、燃料費などが、町内会負担となっている。

都市整備が進み、緑地面

積が増える割に、維持管理予算が伸びていない。必要な予算確保を。

3・11の震災以来、側溝の泥上げが停止しているが対応策は。

山本市長 現在、公園や歩道の環境美化を町内会などに協力いただいている。できる範囲で無理のない活動をお願いする。地域の要望を聞き、年次計画を立て、必要な予算は確保したい。

小笠原建設部長 側溝汚泥



▲公園の草刈り作業

子どもたちであり、大変明るい材料である。

ユニバーサル社会の
実現を目指して

環境整備などのハード面だけではなく、誰もが幸せを実感するために、幅広くサービスを享受できる体制を整える必要があるが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 ユニバーサル社会の実現に向けて、次の3点を基本に市民目線に立つ

た行政運営を行っている。
①市役所内に手話・通訳奉仕員の配置や各種窓口の充実など誰もが使いやすいサービスの提供。②人格や個性を尊重した一人ひとりを大切に支え合う地域社会の実現。③市民や本市に訪れる方が必要な情報を容易に入手できるように、展示や声の広報、多言語に対応したガイドブックやホームページの整備などを実施している。

※ユニバーサル社会とは…年齢、性別、障がいの有無、文化の違いに関わらず、誰もが安心して暮らせる社会。



保育士の確保や業務負担軽減を積極的に進めるべき

笹原隆義 議員

天童市において4年ぶりに待機児童が生じた。待機児童問題の原因である保育士不足問題を解消するためにも、潜在保育士の掘り起こしが重要と考える。そのためにも就労している、または就労が決まっている子育て中の保育士の子どもが

優先入園できるシステムを昨年より本市でも行ったが、より周知に向けて広報していくべきではないか。また既存の保育士の業務負担軽減に向け、

①市が独自に人材バンク的な形で人を募集して、各園の早朝・延長保育への支援



▲保育園で遊ぶ子どもたち

広報については的確に伝えるよう努めていく。
①は施設運営者が主体的に関わる部分なので、市が人材バンク的実業を実施することは考えていない。
②は保育士の処遇改善等の支援を既に行っており、今後も保育施設と連携を図り取り組んでいく。

空き家の有効活用に向けて

空き家を解消するため

に、空き家バンクの活性化が有効かつ必要と考える。空き家バンクへの登録を促すために宅建協会との密な連携が重要であると考え、市長の考えは。
山本市長 宅建協会と連携した空き家バンク活用や合同での空き家相談会の開催など空き家問題に向けて取り組んでいく。



▲空き家となった住宅



住民総参加型スポーツイベントに参加してはどうか

山口桂子 議員

スポーツ都市日本一のために、住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に参加して、市民がよりスポーツに親しむきっかけづくりをしてはどうか。
山本市長 今年3月に「天童市スポーツ推進計画」を策定し、散歩や健康体操

等、誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツを推進し、市民により一層スポーツに親しんでもらうきっかけづくりを進める。指導者の育成や施設の環境の充実に努める。一日限りのチャレンジデーに促われず、様々なイベントの中でスポーツに親

- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と

しみ、健康・スポーツ日本一のまちづくりにつなげていきたい。

2035年問題と敬老会の事務簡素化

しっかりとした「地域包括ケアシステム」の構築が求められている。地域住民の声を反映し、ニーズに応じたわかりやすい仕組みづくりが必要とされている中、現状はどうか。また、高齢化が進む中、各地域で

行われている敬老会はどう運営され、運営の簡素化についての考えはあるのか。

山本市長 在宅医療の核となる天童東村山郡医師会の

協力を得ながら在宅医療と介護の連携の情報交換会を開催している。訪問医療に関する体制の整備とその実現に向けた検討を行っている。ボランティアや住民組織による生活支援については充実を図り、一部地域で行っている高齢者の居場所

づくりを市全体に広げていく必要があると考えている。また、敬老会については、13地区のうち8地区が連合婦人会、5地区が実行委員会等により運営されている。各実施団体から昨年同様に開催したいとの意見があり、今年度も、昨年度と同様に開催する予定である。なお、敬老会の運営の簡素化については、今後とも協議を重ね、より良いものにしていく考えである。

※チャレンジデーとは…年に1回、人口規模がほぼ同じ自治体が対戦相手となり、運動やスポーツに参加した住民の数を競うもの。



子どもの貧困対策の一環として
生活実態調査を実施しては

三宅和広 議員

子どもの貧困問題は早急に解決しなければならぬ問題である。実情に沿った効果的な政策を実施するには、子どもの生活実態調査を実施し、天童市での子どもの貧困の実態を把握する必要があるのではないか。

山本市長 昨年11月に山形

県が子どもの貧困に関する調査を実施した。市町村、児童相談所等の関係機関や児童養護施設の入所児童へのアンケートと生活保護受給世帯からの聞き取り調査を実施したもので、ひとり親世帯への支援を充実する必要があるなどの多くの課題



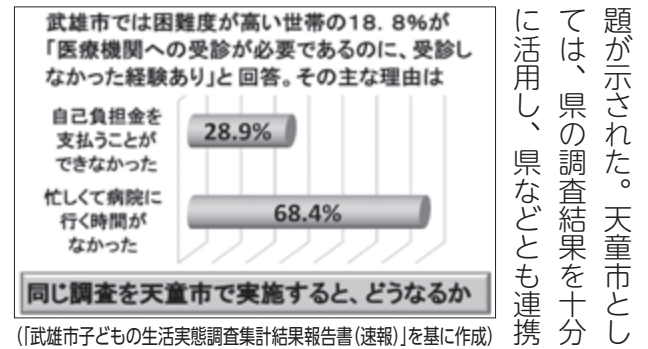
上山口地内採石場跡地の問題の
これからの対応について

結城義巳 議員

①これまで事業を行ってきた事業者から、当初の認可申請があった時、県が現地を調査していれば、強い酸性の岩石であることがわかり、認可できなかったはずである。県が調査をしているのかどうか、市長は把握しているか伺いたい。

②事業予定者に採石事業が引き継がれた場合、事業予定者発表で10万トンの産業廃棄物の搬出、緑化復元の対応も承継されるのか。また、事業者が再び倒産した場合、法的に担保されるのか。

③採石現場は強い酸性の岩石



石があり、河川に流出すれば自然環境が破壊される。不動沢川は魚も微生物も住めない死んだ川になった。毎時80ミリの雨が降ったとされる平成17年のような集中豪雨に襲われれば防ぎようがなく、県として認可すべきでないと考えるがどうか。

山本市長 ①岩石採取事業については採石法によって県が認可することになっており、採石法では「岩石の採取が他人に危害を及ぼ

を及ぼしながら子どもの貧困対策を進めていきたい。障がい者を理由とする差別解消のために

国の障害者差別解消法を受け、条例を制定し施策を進めている自治体がある。基本条例を制定することは、市として積極的に取り組む姿勢を示すことになる。天童市でも、障がいを理由とする差別解消を推進するための条例を制定する

考えはないのか。

山本市長 現在、第3次障がい者プランの策定を進めている。第4次山形県障がい者計画等との整合性を図りながら、様々な課題や多様なニーズに対応する総合的な施策の方向性を示したいと考えている。障害者差別解消法や県の条例に基づく差別解消の推進については、このプランに位置付け、市民や事業者に対する啓発活動に取り組んでいく。

と県から伺っている。

③地域内の安全確保や生活環境の維持を図るため、採石場跡地の水処理計画が有効性のあるものとなるよう県に対して強く要請している。撤回を求める要望書が地元住民から、市議会からは環境保全の遵守等を求める意見書も県に対し提出されている。今後、県に対し、関係法令に基づき、適切な対応を取るよう継続して求めていく。

議会のうごき

- 4月
 - 24日 議会運営委員会、第1回市議会臨時会
市長要請環境福祉常任委員会（待機児童の状況について）
環境福祉常任委員会所管事務調査（放課後児童クラブ外）
 - 27日 市長要請総務教育常任委員会（ふるさと納税の返礼品に係る総務大臣通知について）
 - 28日 広報委員会
- 5月
 - 9日 議会運営委員会
福井県越前市議会視察来童（～10日）
 - 9日～11日 議会報告・意見交換会（市内12会場）
 - 12日 岡山県笠岡市議会視察来童
 - 17日～19日 各常任委員会行政視察
 - 22日 議会運営委員会、市長要請各派代表者会（平成30年度重要事業要望書について外）
 - 23日 全国温泉所在都市議会議長会総会（議長、局長／東京）
 - 24日 第93回全国市議会議長会定期総会（議長、局長／東京）
福井県勝山市議会視察来童
 - 26日 市長要請環境福祉常任委員会（NPO法人による自立支援給付費等の不正請求に対する対応について）
 - 31日 議会運営委員会
市長要請全協協議会（公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団外の経営状況並びに事業計画の報告について）
広報委員会
市長要請総務教育常任委員会（ふるさと納税に係る返礼品の見直しについて）
- 6月
 - 1日～2日 さくらんぼトップセールス（議長、市長／東京）
 - 5日 議会運営委員会
 - 12日～23日 第2回市議会定例会
 - 12日 広報委員会
 - 19日 市長要請環境福祉常任委員会（天童市老人保養センターの基本構想の策定に係る基本方針案について外）
 - 22日 議会運営委員会
 - 23日 市長要請総務教育常任委員会（第七次天童市総合計画策定に係るまちづくり市民アンケート調査の結果について外）
 - 29日 宮崎県 東臼杵郡門川町 議会視察来童
- 7月
 - 6日 各派代表者会
 - 10日 広報委員会
大分県国東市議会視察来童
 - 11日～13日 政和会先進地視察（大分県杵築市、中津市、別府市）
 - 18日 広報委員会
 - 19日 市長要請環境福祉常任委員会（天童市民病院中期経営計画の進捗状況について外）
市長要請総務教育常任委員会（第七次天童市総合計画基本構想案について）
 - 20日 三重県津市議会視察来童
 - 24日 愛知県大府市議会視察来童
 - 25日 愛知県知多市議会視察来童
 - 26日 東京都瑞穂町議会視察来童



本市の生活困窮者の現状と生活困窮者自立支援制度の対応は

松田光也 議員

生活保護世帯数が年々増加している中、生活困窮者自立支援制度と生活保護制度をどのように働かせ、生活困窮者の自立支援に取り組んでいるのか。成果・課題は。

山本市長 平成27年度から自立相談支援事業と住居確保給付金の支給事業を市の委託を受けた市社会福祉協議会が相談窓口を設置し、2名の相談員を配置している。平成28年度の新規相談件数は前年度より15人多い136人で、延べ相談件数は395件多い、1265件であった。困窮者の自立

に向けた相談や住まいの相談等の支援を行っている。また、生活保護229世帯のうち、18歳未満の児童のいる世帯が11世帯あることなどから、生活困窮者世帯に対する学習支援事業は現在行っていないが、生活困窮の連鎖を防止する上で有効であると考え、今後事業実施に向けて検討していく。

住み慣れた家や地域で暮らせるまちづくり

高齢者が認知症になって、住み慣れた家や地域で暮らせるまちづくりの取り組みがますます重要と考える。市民の認知症サポーターの認知度もまだ低く感じるが、養成講座の現状と今後の取り組みは。



▲認知症サポーター養成講座を受講する中学生

予算特別委員会

平成29年度一般会計補正予算 3億1035万7000円を増額補正



一般会計3億1035万7000円を追加する補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

防災行政無線をデジタル化

委員 防災に関する経費8520万円の内容は。

危機管理室長 現在、使用している防災行政無線はアナログ無線であるが、電波法が改正され、2022年12月以降は使用できなくなる。そのため、デジタル化の整備をするものである。整備内容は、庁舎に置く基地局の他に、中継局1局、公民館や庁舎内に配備する半固定局と携帯局が21局、車載局が9局、合計32局である。来年3月までに工事を完了し4月から使用したい。

蔵増北公民館改築へ補助

委員 2600万円補助の内訳及び改築の内容は。



▲解体前の蔵増北公民館

生涯学習課長 改築事業費

4782万円の内、コミュニティ助成事業費補助金として1500万円、公民館整備費補助金として1000万円を補助。残りの費用は地元負担となる。建物は木造平屋建てでバリアフリーに配慮している。他に

備品購入及び外構工事も行い、公民館整備費補助金100万円を補助する。

みんなで認知症を支える

委員 老人福祉費50万円の内容は。

保険給付課長 市内の介護事業所の職員を対象に、高齢者に対する認知症のケアなどの研修会を開催する団体に対する補助金。研修修了者がいる事業所を地域の「まちかど介護相談所」として位置付け、認知症に関する地域支援体制を整備するもの。

意欲ある畜産業への支援

委員 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金6651万3000円の内訳は。

農林課長 意欲ある畜産業への規模拡大、経営安定に向けた支援となる。1社に、牛舎改築など1億4900万円の総事業費の補助

対象1億3302万円の2分の1を補助金として交付するもの。

新たなブランド育成と物産振興へ

委員 三市連携観光地域づくり推進協議会負担金500万円の負担割合は。

商工観光課長 山形市・上山市・天童市の三市が連携し、観光、インバウンド強化を担う協議会となる。今回は、国の交付金の追加内示による増額に伴い、国内外の10ヶ所の国際空港等の観光拠点等に電子広告看板とワゴンショップを設置して地域の新ブランド育成と物産振興を行うものである。なお、各市の負担金は



▲ワゴンショップのイメージ図

一般会計補正予算(第1号)の あらまし

補正額 3億1035万7000円

主な内容 (単位：万円)

防災対策に要する経費	8,520
在宅老人の福祉に要する経費	50
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金	6,651
三市連携観光地域づくり推進協議会負担金	500
道路の管理に要する経費	7,185
地方道路の新設改良に要する経費	3,969
公園の管理に要する経費	1,160
自主防災組織等の育成に要する経費	120
社会教育一般に要する経費	250
公民館の管理運営に要する経費	2,600

山形市1000万円、上山・天童市が500万円となり、外国人スタッフの人工費、ワゴン制作費、プロモーション費等に充てるもの。

市道と歩道の舗装整備

委員 道路の管理に要する経費約7185万円の内容は。

建設課長 長寿命化対策のために、市道三中生1号線と矢野目高揃線の舗装工事、他に市役所庁舎北側市

道の両側歩道の舗装工事等を行う。国からの内示額が確定し、増額なるために補正するもの。

公園施設の改修

委員 公園の管理に要する経費1160万円の内容と増額理由は。

都市計画課長 国からの内示額が確定したことによる増額であり、小畑東公園のトイレ改修等に係る設計及び整備工事費と、公園遊具更新工事において、3遊具を追加するもの。

提出された議案とその結果

平成29年度第1回臨時会が開催され、原案のとおり可決されました。また、平成29年度第2回定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第1回臨時会（4月24日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	平成28年度天童市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
報第2号	天童市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
報第3号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第1号	天童市個人情報保護条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第2号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第3号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内住居表示の方法について	原案可決 (全会一致)

第2回定例会（6月12日～23日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第4号	平成28年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第5号	平成28年度天童市工業団地整備事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第6号	平成28年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報告

議案番号	件名	結果
報第7号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第8号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第9号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第10号	平成28年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第4号	平成29年度天童市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第5号	天童市工場立地法に基づく地域準則を定める条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第6号	町の区域の新設並びに字の区域の変更及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第7号	市道矢野目高揃線道路改良工事(橋梁上部工)請負契約の一部変更について	原案可決 (全会一致)
議第8号～議第26号	天童市農業委員会委員の任命について	同意 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	天童市民の生活環境を守るための意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

新制度による 農業委員会委員の任命に同意

農地利用の最適化（担い手への集積・集約・遊休農地の解消など）を強力に進めていくために農業委員会業務の重点化など、制度の改正がありました。

これまで選挙によって選出されていた農業委員会委員が、推薦又は公募による応募者から市長が任命する仕組みに変わりました。これは地域の農業を

で公正な判断をすること
ができる者を1人以上入
れる。

●女性・青年も積極的に登
用する。

この度、現農業委員会委員が平成29年7月19日をもって任期満了になることに伴い、新しい制度で次の19人を農業委員会委員に任命することに同意しました。

- 議会の同意を要件とする市長の任命制とする。
- 原則として過半数を認定農業者とする。
- 農業者以外の者
で中立的な立場

秋保 茂男 氏 (蔵 増)	清野 貢市 氏 (成 生)
梅津 節子 氏 (矢野目)	那須 桂子 氏 (高嶺南)
遠藤 市雄 氏 (貫 津)	長谷川喜久 氏 (高嶺北)
太田 博巳 氏 (藤内新田)	原田 洸一郎 氏 (川原子)
片桐 久雄 氏 (道 満)	細矢 幸市 氏 (大清水)
熊澤 八弘 氏 (窪野目)	堀越 重助 氏 (小 路)
今野 滋 氏 (上荻野戸)	松田 康政 氏 (山 口)
齋藤 照一 氏 (高 木)	三宅 藤義 氏 (高嶺北)
佐藤 悦雄 氏 (矢野目)	横山 愛 氏 (田鶴町)
佐藤 善治 氏 (荒 谷)	

(任期平成29年7月20日から平成32年7月19日まで)

意見書の提出

本市議会環境福祉常任委員会が、上山口地内の採石場跡地で計画されている事業に対し、環境を守るための意見書を6月12日の本会議に上程し、全会一致で原案のとおり可決されました。その後、直ちに、事業の許認可権者である山形県知事に対し、市議会として意見書を提出しました。

▼天童市民の生活環境を守るための意見書

天童市では、緑ある住みよい環境のまちづくりを推進しており、公害を未然に防止するとともに、大気や水質・土壌などの自然環境を良好な状態に保持し、地域の環境保全に努めております。

現在、本市上山口地内の採石場跡地において、事業予定者により岩石の採取事業が計画されており、市民が、地域住民を始め、市民への事業内容の説明が不十

分であり、当該事業に対する理解が得られていない状況にあります。

また、地域の自然環境の悪化や交通量の増大など、地域住民の生活環境への影響が懸念されるとともに、不測の事態が生じた場合には、農畜産物等への風評被害が危惧されているため、地元自治会や市内の各種団体から事業の撤回を求める要望書や意見書が本市に提出されています。

よって、天童市民が安全で安心して生活が送れるよう、次の事項について、強く要望します。

1 事業計画区域内の現在の状況を十分に調査し、事業予定者に対し関係法令に基づいた環境保全の

遵守と施設等の管理の徹底を指導すること。

調査の結果、法令違反が確認された場合は、山形県が原状の回復について最優先に取り組むこと。対応については、地域住民及び天童市と事前に協議を行い、理解を得た上で実施すること。

2 事業予定者の事業計画については、地域住民を始め、市民への内容説明が不十分であり、当該事業に対する理解が得られていない状況にあることから、住民の生活に影響を及ぼすことがないよう、地元自治会や各種団体の意向に十分に考慮すること。

提出先 山形県知事



議会運営に関する検討内容を報告します

本市では、平成26年3月に天童市議会基本条例を議員発議で制定し、市民の福祉の向上と地域の活力ある発展の実現を目指しています。

議会運営委員会において、議会運営及び常任委員会活動の活性化を図る観点から2つの項目について見直しの提案があり、昨年の9月より協議を行ってきました。また、3月に議長から議会運営委員長に対して、5月末まで検討し答申するよう諮問がありました。

これまで議員研修会や他市への視察研修を実施して検討を重ね、全員協議会でも意見交換を行いました。その内容と結果についてお知らせします。

設置し全議員で審査しています。協議の中では、各常任委員会の所管ごとに分割して審査する方法に見直すことにより、より専門的に掘り下げて議論することができるといった意見も出されました。

検討の結果、全議員で審査を行い、すべての予算・決算議案に関わって意見を述べる方が良いという意見が多く出され、これまでどおり全議員による審査方法を当面継続することになりました。

今後とも、引き続き議会運営に関する事項について検討を行います。

②議会報告・意見交換会について

現在、年2回、市内12市立公民館で行っている議会報告・意見交換会の実施方法について、常任委員会こ

①予算・決算議案の審査方法について

現在、予算・決算議案は全議員による特別委員会を

とに各種団体に赴いて実施する方法を含め、引き続き検討を行います。



▲埼玉県和光市での視察

教えてケロっす



Q 議会運営委員会とは？

A 円滑な議会運営のため、議案の取り扱いや会期の決定など議会運営全般について協議する委員会。会派の人数に応じて7名の委員で構成。

鈴木照一議長に感謝状

5月24日に行われた第93回全国市議会議長会定期総会において、全国市議会議長会産業経済委員として会務に精励されたことに対して感謝状が贈られました。

政務活動費の領収書を市ホームページで公開

本市議会では、議会だより等で政務活動費の収支報告を公表してきました。

この度、平成28年度分から収支報告に加え、領収書もホームページで公開しております。

今後も政務活動費の使途の透明性を確保し、開かれた議会を目指し努めてまいります。

会議録が閲覧できます

市議会の会議録は、図書館と市立公民館に備えております。また、天童市のホームページでは平成13年以降の会議録が閲覧できます。一般質問に対する市長や教育長等の答弁のほか、予算・決算特別委員会における質疑と答弁が全て記載されています。ぜひご覧ください。

インターネットで議会中継

議会の会期中、本会議をインターネットにて生中継しています。また後日、録画の配信を行っております。録画の配信は、本会議開催日のおおむね7日後から配信します。

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

議会報告・意見交換会

10回目となる議会報告・意見交換会を、5月9日から11日まで市内12カ所で開催しました。前回開催よりも55名多い165名の参加をいただき、感謝を申し上げます。

議会の活動状況等の報告と、モンテディオ山形新スタジアム建設の話題のほか、地域の身近な課題などに活発な意見が交わされました。

議会へのご意見、ご要望等は、議会運営委員会で議会として対応を協議するとともに、市政に対するものは、市民の皆様の貴重な声と受け止め、議会からの提言につなげていきます。さらに、市長等に文書で提出します。

なお、各会場の報告書（簡易な会議録）は、市立公民館及びホームページでご覧いただけます。

1班 干布・天童北部・長岡

伊藤和子、結城義巳、村山俊雄、佐藤俊弥、熊澤光吏

会場によっては、参加者を集めるため、会議の日程を調整してくれた地域もあり、ご配慮に感謝したい。

地元環境整備に関する意見が多く、高齢者問題、防災対応、交通対策など広範な意見が聞かれた。市政に反映させる努力をしたい。

気軽に意見交換できるような雰囲気や、女性が参加しやすい時間帯の設定なども考えていきたい。

（班長 伊藤和子）

2班 天童中部・寺津・津山

赤塚幸一郎、山口桂子、松田光也、武田正二、渡辺博司

3地区ともに前回を上回る参加者があり、活発な意見交換となった。

特に、「高齢化の進行に伴う介護施設のあり方や包括ケアの進め方」、「周辺地域の深刻な少子化による住宅団地開発の必要性」、「自治町内会の費用負担のあり方」などが話題となった。

またサッカー新スタジアム誘致に関しては概ね賛意の声が聞かれた。

（班長 赤塚幸一郎）



3班 天童南部・蔵増・成生

水戸 保、山崎 諭、狩野佳和、水戸芳美、三宅和広

今回はモンテディオ山形新スタジアム建設をテーマに意見交換を行った。地域による温度差があったが、住まいがスタジアム近くの参加者は、1週間かけて山形県スポーツ振興21世紀協会やモンテディオ山形に向き、調査した情報を提供してくれた。既存施設の周辺に建設してほしいが、負担金等もあるので慎重に進めてほしいという意見も出された。

（班長 水戸 保）

4班 高掬・山口・荒谷

石垣昭一、後藤和信、遠藤敬知、遠藤喜昭、笹原隆義

議会報告会参加者は10名〜20名前後であるが、10回目と回を重ねることで定着したと思う。しかし、女性の参加者が少なく一考を要するものだった。

それぞれの会場では、信号機設置や採石場跡地問題等が提起され活発な意見交換となった。

切実な地域課題に議会としてどう対応するのか問われている。議会報告会の必要性を感じた。

（班長 石垣昭一）

議会・議員に対する意見・要望等（アンケートから抜粋）

○議会報告・意見交換会の運営等

- *若い人の参加者が少ない。
- *各地域の生活に役立つような議題を提示すれば参加人数が増えるのでは。
- *市民の意見がどれだけ市政に反映されているか疑問である。形式的なもののような気がする。
- *勉強になりました。ただし、各議員のアイデア等、もっと述べていただきたかったです。
- *今回のテーマが「新スタジアム建設について」だったので参加したが、ほとんど他の議論が多く大変つまらなかった。自己主張の会のようだった。
- *報告はもっとわかりやすく話すこと。例などを挙げ、苦労したことや問題解決したこと、市民の利益になったことなどを説明してほしい。研修の成果等は一人ひとり自分が感じたことを発表してほしい。
- *議会報告・意見交換会という名目でなく、地域の方々と議員との意見交換会にしてはどうか。
- *市議会だよりが充実している点も不参加の理由の一つではないかと思う。5月9日と新年度が始まった時期は各会合、行事が目白押しであり、不参加の理由と思われる。打開策として干布地域では干布地域社会福祉協議会理事会を開催している。
- *一人からの意見は1〜2個にすべきである。一人のみに多数の意見を述べさせるのはいかがなものか。
- *意見要望など一方的になる。一つ一つに何か回答があれば議会報告も盛り上がると思います。

○議員・議会への要望等

- *議員の皆さんに市全体、平均的な市政の取り組みを期待する。
- *天童市上山口地内の採石場跡地の状況について各地区に波及するよう声掛けをお願いします。
- *初めての参加で議員さんの顔、生の声が聞けてよかったです。活気ある街づくりの意気込みは感じられました。

○市政への意見・要望等

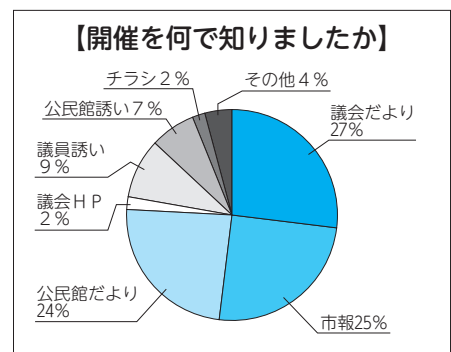
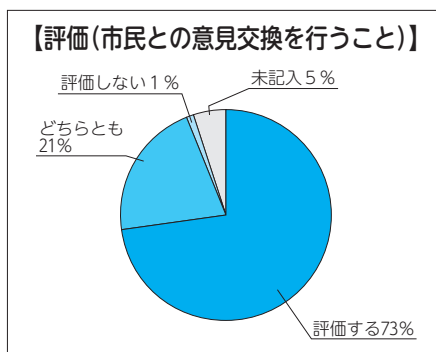
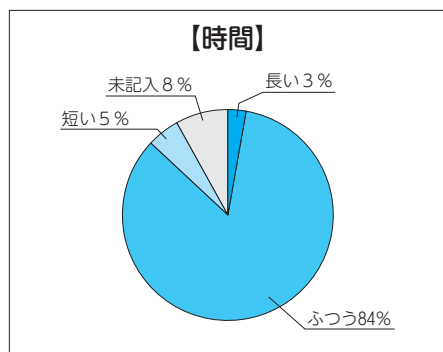
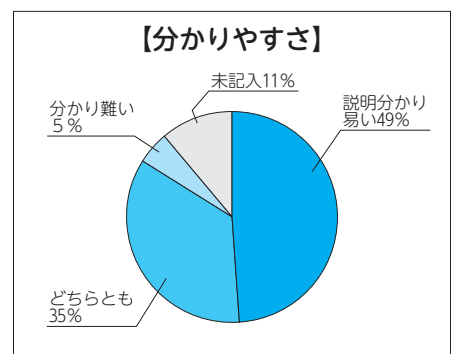
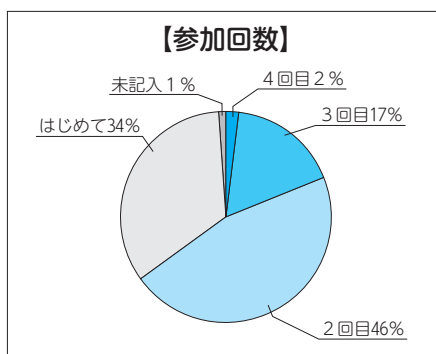
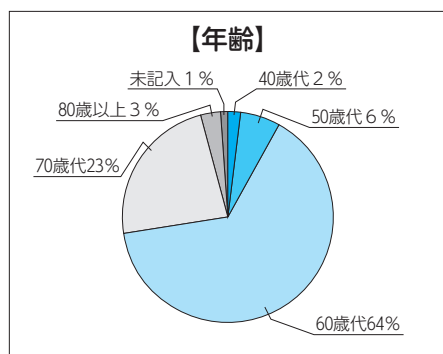
- *新スタジアムを天童市に造ってもらうには何と言っても市民の盛り上げが必要に思う。例えば、天童市に12地区あるが各地区ごとに応援デーを設け、何らかの特典を与える。
- *サッカー場を天童に持つてくるのであれば中途半端な球場でなく、他のサッカー場等を見て作ってもらいたい。天童は野球場にしても観客席も少なく、二軍のゲームは良いけど一軍は使えない。鹿島アントラーズの鹿島スタジアム、埼玉の浦和スタジアム等を見学に行ってもらい参考にして作ってもらいたい。将来、一部リーグを目指しているので立派な球場を作る必要があると思います。
- *市立美術館がいつも閑散としているような気がするので、もっと活用してみてもどうでしょう。図書館の老朽化も問題だと思います。



▲モンテディオ山形とコラボしたご当地ディーオ(将棋の駒を持った棋士)

アンケート

参加者数	天童南部			天童中部			天童北部			成生			蔵増			寺津			津山		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
	3	0	3	8	4	12	11	0	11	16	0	16	19	0	19	13	3	16	13	0	13
	山口			高嶺			長岡			干布			荒谷			合計			アンケート		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	回答数	回答率	
	11	1	12	20	3	23	11	1	12	18	1	19	9	0	9	152	13	165	147	89.1%	



に学ぶ

行政視察の報告

本市議会では、常任委員会ごとに、先進的で魅力ある行政施策を実施している自治体などへの行政視察を行っており、視察調査事項に関連する部署の市職員も同行しています。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題や市への提言等に反映され、今後のまちづくりに活かされています。

5月17日から19日に実施した行政視察の内容をご報告します。



▲ノ一部活デーについて説明を受ける委員

総務教育常任委員会

兵庫県姫路市

中学校のノ一部活デー

世界文化遺産で国宝の姫路城で知られる姫路市は、人口約53万5000人で播磨地域の中核都市である。姫路市教育委員会は生徒や教職員の適切な休養のため、全中学校でノ一部活デーを完全実施している。

部活動の加入率は88・6%で非常勤嘱託やボランティアの外部指導者を招き強化を図っている。学校や地域の実情に応じた適切な部活

の運営のため、部活動運営懇話会を定期的に開催している。

教職員の超過勤務の縮減

のための取り組みでもあるが、生徒のノ一部活デーの過ごし方が課題である。

兵庫県三田市

企業連携消防団

三田市は、平成9年まで10年連続人口増加率日本一で、神戸や大阪のベッドタウンとして急成長、人口約11万3000人。消防団組織は7分団で団

員704名（女性12名）。団員の高齢化、さらに79%

がサラリーマンで昼間の災害対応が難しい状況にある。そのため、工業団地内の防災力向上策として企業

消防団を設置していた。機能別消防団として団地内の災害発生時に対応し、出動手当3000円のみを支給し報酬はない。

企業の理解はもとより、活動時間・範囲の制約や訓練不足等、課題も多い。

兵庫県西宮市

未来づくりパートナー事業

甲子園球場のある西宮市は、大阪と神戸の中間に位

置した阪神都市圏のベッドタウンで人口約48万8000人。市民の提案に基づく、市民と行政協働での助成事業を条例制定し実施している。審査会の意見を踏まえ

市が事業を採択し、事業の実施後、評価委員会において評価・検証を行っている。全面施行から7年経過、制度の課題も多く、年々市民の提案が減少。今年休止して制度の見直しや継続是非を含めた検討を行っており、市民意識をどう高めるかが課題である。

(委員長 遠藤敬知)

環境福祉常任委員会

福岡県古賀市

公民館拠点の健康づくり

古賀市は、福岡市の北東15キロに位置し、人口5万9000人弱で、西部は玄界灘がある。「ヘルス・ス

テーション」事業を平成26年から開始しており、公民館を拠点に人材育成と健康

づくりを一体的に進める取り組みである。健康づくり推進員が、各地区や学校、企業、公共施設などで、子

福岡県三潴郡大木町

バイオガスシステム

(おおき循環センター「くるるん」視察)

大木町は、福岡県南部筑後平野の中央部、水郷柳川に隣接した農業の町で人口約1万4000人。持続可能な循環のまちをめざし



▲電気柵を現地視察



▲ごみ処理循環施設「くるるん」の現地視察

て、「大木町もつたいない宣言」を平成20年に議決した。循環のまちづくりの拠点として「くるるん」を建設し、家庭から出る生ごみを分別して、メタンガスプラント発酵槽に投入。37℃で22日間発酵させバイオガスで発電、また、液肥を活用して水稻や麦などの土地

利用型の作物に利用して、生ごみの資源化を支える地域循環システムを構築している。リサイクル率が65・3割と高いことに驚いた。生ごみの分別は参考になる。

福岡県大牟田市

認知症SOS模擬訓練

大牟田市は、平成27年三

池炭鉱関連施設が明治日本の産業革命遺産として世界文化遺産に登録された。人口11万7000人。地域全体で認知症の理解を深め地域で支える仕組みをつくり、安心して暮らせるよう、地域認知症ケアコミュニティ推進事業を行っている。小中学生も総合学習で

認知症を学び認知症の人と触れる機会をつくる。また、認知症の人が行方不明になったという想定で、行方不明役が地域を回り、連絡を受けた地域ネットワークが捜索に協力する、認知症SOS模擬訓練を毎年全ての小学校区で実施していた。

(委員長 水戸芳美)

経済建設常任委員会

福井県あわら市

人気漫画を活用した観光振興
人口2万8000人のあわら市は、将棋の人気漫画「3月のライオン」を活用した本市の取り組みと同じく、競技かるたを題材にした人気漫画「ちはやふる」を活用した事業を行っている。

読者ファンが作品の舞台となった場所を訪れる、いわゆる「聖地巡礼」を市内で見られるようになり、活用事業として、地元商店を

巡る「カードラリー」や「アニメ声優トークショー」のほか、全国競技かるた大会の誘致に成功した。関連する都市との連携は、一都市ではできない取り組みの幅を広げ、本市でも取り組むべきことと感じた。

長野県須坂市

農作物の野生鳥獣害対策

人口5万1000人の須坂市は、本市と同じ内陸盆地の果樹地帯で、地域単位で鳥獣被害対策委員会を設

群馬県高崎市

スマートIC周辺開発造成事業

農作物だけでなく、人身に被害が及ぶケースも考えられ、農家や猟友会以外の住民からも理解と協力が必要だと感じた。

北関東圏・上信越圏の交通の要衝であり、人口37万4000人の高崎市は、JR高崎駅から関越自動車道を結ぶ地方主要道の渋滞緩

和、地域の活性化を目的として、関越自動車道との交差点部にスマートICを設置した。これによりJR高崎駅と直結して利便性が向上し、当初見込みを上回る利用量となった。

また周辺整備では、積極的な優遇制度で工業団地造成を行っていた。

東北中央自動車道が平成30年に福島JCT（ジャンクション）まで開通し、スマートICを本市に設置した場合、多額の事業費に見合った効果があるのか検証する必要がある。

(委員長 村山俊雄)

*スマートIC…高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから、ETCを搭載した車両が乗り降りできるようにするインターチェンジのこと。

市民の声

私は、木造建築業を営んで四十有余年になりました。幸い自分が手がけた住宅には空き家になつた家はありません。しかし、我々の諸先輩がその当時の最新の技術で建築した住宅が空き家になるといふのは一抹の寂しさがありません。

時の流れにより、核家族化、そして世帯構成の変化は今後ますます大きな流れとなりつつあるようです。

私の住む地域も大規模開発により大きく変化してきました。新興住宅地に、夫婦単位の新築住宅が建てられ、数年前には考えられないような街並みになりました。一方で空き家となる家が出てき

『夢の家』が 空き家になる

工藤光信(66歳・高揃)

天童市議会を傍聴した時、天童市の空き家対策が論じられていました。やむを得ずに空き家になってしまったものですが、その処置は重要なことです。

行政側が一生懸命対策を練り、議会側もチェック機能の役を果たそうと真剣に論じていました。空き家バンクの制度が大いに活用されれば、その家の建築に携わった我々職人も嬉しく、今後の状況を見守っていきたいと思います。

ます。

住まいの建築には、施主の大きな夢・希望、そして喜びと、それに携わる多くの職人たちの技術があつて造られるものです。その時の夢が詰まつた家が捨てられていく。とても悲しいものです。

天童市議会を傍聴した

時、天童市の空き

家対策が論じられ

ていました。やむ

を得ずに空き家に

なつてしまったも

のですが、その処

置は重要なこと

です。

行政側が一生懸命対策

を練り、議会側もチェッ

ク機能の役を果たそうと

真剣に論じていました。

空き家バンクの制度が

大いに活用されれば、そ

の家の建築に携わつた

我々職人も嬉しく、今後

の状況を見守っていき

たいと思います。

9月定例会の日程(予定)

- 8月28日(月) 本会議(初日)
- 30日(水) 本会議(一般質問)
- 31日(木) 本会議(一般質問)
- 9月1日(金) 常任委員会
- 4日(月) 常任委員会
- 5日(火) 決算特別委員会
- 6日(水) 決算特別委員会
- 7日(木) 決算特別委員会
- 8日(金) 決算特別委員会
- 11日(月) 予算特別委員会
- 13日(水) 本会議
- 22日(金) 本会議
- 29日(金) 本会議(最終日)

※請願の締め切りは、8月17日(木)正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

天童市議会ギャラリー



議会について説明を受ける様子



視察受け入れの準備中

7月6日に天童二中2年生が議会事務局に職場体験に来ました。議会について説明を受けたり、視察受け入れの準備をしてくれました。皆メモをとりながら、熱心に勉強していました。



議場にある質問席
各議員の氏名標も将棋の駒の形をしています。

編集後記

- 梅雨の候、今年も各地で大きな災害が相次いでいます。被災された皆様にお見舞い申し上げます。
- 想定外の災害、あつという間の出来事だったと報道されています。防災への備えを考えさせられる毎日です。
- 読みやすい議会だよりを目指し、今号から高齢者も見やすい書体に替え、一般質問の紙面もリニューアルしました。
- ご感想・ご意見等お聞かせいただければ幸いです。(伊藤)

《広報委員会》

委員長	伊藤 和子
副委員長	狩野 佳和
委員	佐藤 俊弥
委員	遠藤 喜昭
委員	三宅 和広
委員	笹原 隆義
委員	熊澤 光吏